

わたしの 妊娠報告書

記載日 2022 年 4 月 16 日

おめでた宣言日	2022 年 3 月
年齢 (38) 歳	令和 (平成) (31) 年 (1) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (0) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵	タイミング法 (?) 回 1 年以内
<input type="checkbox"/> 排卵誘発	タイミング法 () 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 + 人工授精	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 + 人工授精	(2) 回 ?
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精	(2) 回
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精	(1) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

移植日が近づいてきたら、マッサージをしたりして、体中の血行が良くなるようにした。

お茶を飲むとストレスをためやすいため、自分の好きな飲み物(茶)を睡眠をたくさんとり、体をリラックスさせるように心がけていました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

体外受精が2回連続で結果が出なかったのだ。思いあきらめ人工授精を受けたが、それが大きかったと思っている。検査の結果、改善の余地ありということで、薬と針の服用をスタートしたが、その次の顕微授精で初めて妊娠できた。検査費用は高額で少しはゆとりが受けて良かったと思う。

その他（通院・治療費・家族など）

通院→治療を開始して1年間は正社員の仕事を続けていたが、通院の両立が本当に難しかった。仕事の都合で何度も受診キャンセルが続いたので、このままでは絶対に妊娠できないと思い、遂に泣く。長年勤めた職場を辞めようということになってしまった。夫→どうしてもクリニックに通院したり、治療を受けたりという事が休け日といふので、不妊治療に対する認識やストレスなどの温度差を感じた。不妊治療で、夫婦で取り返す問題だと思うわけだから、まるで自分一人で行ったかのように思っているおかげで時間が多く辛かった。

治療中の方へのアドバイス

どうしてもストレスがたまりやすいので、難しきことはあきらめがけ、なるべく明るくハッピーな音楽を聞いたり、美味しいものを食べたりして、気持ちを治療以外のことに向けてあげよう。

スタッフへのご意見など

不妊治療専門のクリニックということで、先生、看護師、事務の方々と皆さん、とても気遣いのある対応をされていたのが、おき有り難かったです。治療の結果が出なかった時も、寄り添うように接していたので、かなり心で救われました。